

令和4年度技術士第一次試験の正答ミスにおける
(公社) 日本技術士会の対応について

公益社団法人日本技術士会

1. 経緯

令和4年度技術士第一次試験において、外部からの指摘により合格発表前に正答ミスが2件、合格発表後に1件の正答ミスが判明し、追加合格者13名を発表するなど、受験者のみなさまに多大なご迷惑をおかけした。このため、公益社団法人日本技術士会（以下、「技術士会」という。）において、令和4年度一次試験の総点検を実施した。その結果及び再発防止策については以下のとおり。

2. 正答ミスの原因

以下の2点が主な原因と考えられる。

- ・ 作問・審査の複数の段階における確認・チェック漏れがあった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として審査プロセスの特例的な扱いを実施したため、委員間の意思疎通が円滑にとれなかった。

3. 再発防止策について

上記原因をふまえ、以下のとおり、再発防止策を講じることとした。

(1) 令和5年度に講じた再発防止策について

- ①作問段階 : 入念な点検・再確認を行っていただくことを文書により依頼した。
- ②審査段階 : 令和2～4年度まで行っていた新型コロナウイルス感染症対策としての審査プロセスの特例的な扱いを取りやめ、手順を遵守した審査を徹底した。
- ③試験実施後 : 令和5年度技術士第一次試験実施後、試験結果を分析し、疑義が発生した問題については、速やかに試験委員へ確認のための照会を行う。

(2) 令和6年度以降に講じる再発防止策について

今般の総点検の結果得られた留意事項等を反映した試験問題作成マニュアル等の改訂を行うほか、事務局機能の強化等を検討する。